

平成28年5月18日

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成28年度病害虫発生予察防除情報第3号

露地びわのナシマルカイガラムシの防除対策について

5月上旬の巡回調査結果から、向こう1か月間におけるナシマルカイガラムシの発生は平年並、発生時期は平年に比べ早いと予想されます。まもなく本虫の第1世代の発生時期を迎えますので、下記の点に留意して適期に防除を行うようお願いします。

記

1. 発生状況

- (1) 5月上旬の巡回調査(10筆)の結果、発生を認めなかった(平年寄生枝葉率0.1%、発生圃場率1.3%)。
- (2) 有効積算温度に基づくシミュレーションの結果によると、露地びわにおける第1世代1齢幼虫の発生ピークは、県内各地で平年に比べ8日程度早いことが予想される(表)。

表 有効積算温度計算シミュレーションによるナシマルカイガラムシ第1世代1齢幼虫の今年の発生ピーク予測日(5/17現在)

地点	長崎	大瀬戸	口之津	長崎 (平年値)
発生ピーク予測日	5/18	5/25	5/19	5/26
" (前年)	5/21	5/29	5/23	-
標高(m)	27	43	10	27

注1: 発生ピーク予測日は気象庁アメダスの気温データを用いて有効積算温度により算出した。なお、2016年3月1日を起点とし5月16日までは観測値を、以降は平年値を積算に用いた。

注2: 前年の発生ピーク予測日は、2015年の気象庁アメダス観測値により算出した。

2. 防除対策

- (1) 防除適期は第1世代1齢幼虫の発生ピークであるが、露地びわの収穫時期が重なるため、発生圃場では収穫終了後に速やかに防除する。
- (2) 防除薬剤のうち、昆虫成長制御(IGR)剤は齢期の進んだ幼虫に対しては効果が劣るので、散布時期を逸しないよう注意する。また、マシン油乳剤は高温時の散布では薬害を生じることがあるので注意する。
- (3) 樹冠内部の枝や幹に薬液がかかるように十分量を散布する。
- (4) 同一地域内の圃場でも標高や土地条件により気温が異なるため、発生時期が予測日と前後する場合がありますので注意する。

長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>
この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027